

ちいき福祉だより

かかし

(発行元) 中津市社会福祉協議会
地域福祉課地域福祉推進係山国
〒871-0712
中津市山国町守実89番地1
(山国社会福祉センター内)
TEL 0979-62-2898
FAX 0979-62-2905
E-mail yamakuni-chiiki@nk.oct-net.jp

サロンがつながる！

山国地区いきいきサロンネットワーク会議 発進

「活力あるサロン活動の発展を目指して！」

山国地区には広域型いきいきサロン1か所、いきいきサロン18か所、合計19か所のサロンが活動を行っています。当初は、おしゃべりや各自の生きがいづくりの場でしたが、現在ではゴミの勉強会や特殊詐欺などの「地域で起っている地域課題の学習」やゴキブリ団子やアクリルたわしを作って全戸に配るなどの地域貢献活動、また、見守り体制の拠点となるなど、「サロンが地域コミュニティの中で重要な存在」になってきています。

今後、このような活動を維持していくうえでも、山国地区のサロンが横のつながりを持ち、サロン同士の支え合いや助け合える関係づくりが必要となってくることから、2月19日(金)、山国社会福祉センターで「山国地区いきいきサロンネットワーク会議」を開催しました。

大雪の翌日でしたので殿畑の会サロンが積雪のために参加ができませんでしたが、18か所のサロンから24名の代表者が集まりました。初回となるこの日は研修会を兼ねて、地域福祉課長の「さあ、サロンへ行こう！」と題しての講話、現在サロン活動を行うにあたってのコロナへの注意点やサロンの持つ力など、改めてサロンへの意欲が高まる学習となりました。

その後の意見交換会でお互いのサロンがやっている内容のネタ交換や、課題などを出し合いました。「今回参加して元気をもらった。」「10年以上経つので、原点に戻って活動を見直します。」などの意見が出ました。

課題については、次回の会議に持ち越されました。

人のつながり応援事業 運転ボランティア 安全運転講習会 山国“よりあ”との交流会

2月25日(水)、山国社会福祉センターで人のつながり応援事業「運転ボランティア安全運転講習」を行いました。本事業の運転ボランティアは、社協の車両を使って山国“よりあ”に参加する方々の送迎に協力していただくもので、ひとり暮らしの閉じこもり予防や共食によって生まれる生きがいづくりを目的としています。送迎を行っていただく上で、運転ボランティアには、安全面の確保のために半年に一度「安全運転講習会」を開催しています。

今回は、中津警察署 仲野交通係長による講習に加え、大分県交通安全教育車セーフティーぶんどで様々な状況に合わせた運転の体験をしました。

最後に仲野係長より、「今後も運転ボランティアでの活動を継続していくためにも、気を付けるのは自分自身であり、認知・判断・操作の3つを意識した安全運転に努めてほしい。」との話がありました。



全集中の藤原伸祥さん



真剣な表情 中野秀明さん



反応はいかがですか？
渋谷 禎昭さん →



梶原康広さんは所要のため欠席

交流会 ～いつもお世話になっている運転ボランティアさんへ～



講習中に山国よりあの皆さんが作った昼食と一緒にいただきました。運転ボランティアの皆さんは、「おふくろの味でとてもおいしい！」と完食でした。

その後の座談会では、“よりあ”の皆さんから「運転ボランティアの皆さんのおかげでこのような会に参加できて感謝しています」など日頃の感謝の気持ちを伝えることができました。

それに応えて「皆さんと会って車の中でお話するのが毎月の楽しみ」「皆さんここに参加するのが本当に楽しそう、その姿にいつも元気をもらっている」「あまり早く家を出て待っていると寒いので心配！風邪を引かなかと心配！」などの体調を気遣う感想があり、ほのぼのとした雰囲気につつまれました。



メニュー：ちらし寿司、ささみのフライ、ぜんまいとほうれん草の白和え、赤魚のお吸い物、リンゴ、寒天

ふくし川柳 受賞おめでとうございます！

今年度は『みんなのふくしまつり』に代わるイベントとして、ふくし川柳を募集しました。皆様たくさんのご応募ありがとうございました。応募総数788通の中から山国の方が3名受賞されました！



【優秀作品】

中学生の部 ◇ お互いに 鼓舞して進む 挑戦へ

原 綾乃

一般の部 ◇ ボランティア 作業に行くも 我も喜寿

水谷 義治

【入選】

一般の部 ◇ ふれあいを 求めて集う 顔と顔

吉瀬 節子

中摩ふれあいサロン

2月28日(日)中摩コミュニティセンターで「お久しぶり〜」「元気やった？」と挨拶と笑顔が飛び交いました。

『中摩ふれあいサロン』は犬王丸・白地・中摩上・中摩下の4つの地区合同で、年4回開催しています。

この日は天気も良く20名の皆さんが参加されました。体操や脳トレをした後に、4つのチームに分かれて「チーム対抗じゃんけんゲーム」をしました！皆さんとても上手で、初めての方も高得点を取っていきます。回を重ねるごとにコツをつかんでどんどん点数を取っていきましました。「すごいね！」「惜しい!!」「頑張れ!!」と応援してくれる皆さんのおかげかもしれません。

帰り際に「楽しかった〜」「今後も続けて行こうね」と話されていました。



じゃんけんゲーム皆さんとても上手です！



体操で体が
ぽかぽか

とき 時代の リーダー

疫病からふるさとを救った

むらかみ こなん

村上姑南先生

「死の病」と恐れられた天然痘(ウイルス)。嘉永2年(1849年)、日本で初めて種痘(ワクチン)が行われたその年に豊前の山村で種痘を行った医師がいました。その人が山国郷中摩村の村上姑南先生(32歳)。姑南は、広瀬淡窓の咸宜園(かんぎえん)に学び21歳で塾頭を務めたほどの俊才です。咸宜園を出たのち、秋月・筑後・府中で3年間の医学を修行し、地元中摩で開業しました。そこで天然痘で次々と死んでいく子どもたちを目のあたりにするのです。姑南はこの時自分の無力さを「天はこの奇病を設けて医者に試練をあたえているのか」と嘆いています。



〈法要忌お参り〉

おそらく遥か遠くのイギリスで牛痘法(ぎゅうとうほう)による種痘(ワクチン)が成功したことは姑南の耳に入っていたことでしょう。その種痘が佐賀藩で行われたことを知るとすぐさま佐賀藩に赴きました。佐賀藩は当然へんぴな町医者に種痘術(ワクチン接種)を教えることはしませんでした。しかし、姑南は近所に泊まり込みで根気強く教える請いに行くのでした。佐賀藩もその熱意に負け、種痘術を授(さず)けたのです。

姑南は真つ先に山国に帰り、近隣の300人を超える子どもたちに接種を行い天然痘から多くの子どもたちの命を救ったのです。また、豊前豊後の医者たちにこの種痘術を教えながら、8年の長きにわたって接種を続けたのでした。

山村にいながその情報収集の素早さや行動力の裏には、この病で我が子を失ったこともあってか、小さな子どもの命を助けようとする姑南の人間性と医術に対する一途な情熱が伺えます。

時代がめぐって今はコロナウイルスに苦しめられています。

かつてここ山国での村上姑南先生の功績は今に通じるものがあります。この時も疫病の収束を見たように、必ず収束が来る希望を持ち、元の生活に戻ることができることを信じ、各自が努力を続けていきましょう。

没後131年、毎年6月に村上姑南顕彰会にて法要が営まれています。



姑南村上翁



相談日のお知らせ

ひとりで悩まないで...

一緒に解決の糸口を見つけましょう。コロナの影響により日にちが変更になる事もあります。一度お電話で確認をよろしくお願いします。

心配ごと相談

日時 4月14日(水) 9時~12時

場所 社会福祉センター

山国地区民生児童委員さんが、色々な心配ごとの相談に応じます。お電話でも相談できます。お気軽にご相談ください。

TEL 62-2898

ほっとテラス(医師による相談)

日時 5月12(水)午後2時~4時

場所 中津市教育福祉センター

精神科医が相談に応じます。予約制になっていますので、相談を希望する方は事前にご予約をお願いいたします。

TEL 23-2095



3月4日(木)に社会福祉センターにて消防訓練を行いました。

今回は調理場の油に引火した想定で、センターの廊下に設置してあるパッケージ型消防設備を使用しての訓練です。パッケージ型消防設備は火の手が天井まで上がり、消火器では対応できない時に使用します。長くて重いホースなので、職員が二人で素早く引き出して消火にあたりました。あまり見慣れない設備ですが、いつどんなことが起こっても対応できるように、事前に消防設備などの場所や使い方、重さも知っておくことの大切さを学びました。センターを利用する際は、どこにあるのか探してみてください。〈地域福祉推進係山国〉

